



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.30

西仙北地域の強首地区で金属製極小部品の製造を行っているのが、有限会社勇和工業秋田工場（鈴木敬三代取締役社長、本社・東京都）です。

同社は1978（昭和53）年、東京都稲城市で創業。2009（平成21）年3月、秋田工場を現在地に設置しました。生産機能を同工場に集約し、生産体制の効率化と開発技術の向上を図っています。

同社が製造しているのは、マイクロシャフトやガイドシャフト、歯車軸など、工業機械の中に組み込まれる金属製の極めて小さな部品です。工業機械は本体を構成する部品そのものの精度



「極小」のものづくりに挑む

（有）勇和工業秋田工場〔西仙北〕

製造品目／工業機械用極小部品など

従業員数／9人

※今回の案内人は〔写真左から〕製造部の三浦豊さんと生産技術部の宇土俊之さんです。



と品質が均一でないと、十分に性能を発揮することができません。同社は、1ミクロン（1ミクロンは1000分の1ミ）単位での調整が必要となる繊細なものづくりを職人技と呼ぶべき高度な研磨加工の技術で実現させ、国内外の取引先の多様なニーズに对应しています。こうした極小部品の製造を取り扱うことのできる工場は県内でも少なく、コンパクト化が進む工業機械製造の分野で信頼を集めています。

他の金属加工業者が敬遠しがちな極小サイズの部品づくりに活路を見出した同社。実績を積み重ねながら独自の強みを生かした挑戦を続けています。